(3) 積算条件

- 1) ルフィアの交換率を1ルフィア=15.97円とする。 (交換率は1989年12月1日 を起点に6カ月間の実績を加重平均としたものとする。)
- 2) 主要工事の内訳詳細は付属資料表7~9に記す。
- 3) 積算時点は、現地調達材は1990年2月、国内調達材価格は同年5月とした。
- 4) 施工期間は2期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事と資機材調達期間は、施工工程に記したとおり。

なお、上記負担工事費は政府予算予備費から支出される。1990年度の予備費を含んだ大蔵省予算は128,830,397ルフィアで、本施設工事に要する上記モルディブ側負担費用は、この約0.95%である。

4-3-6 工事区分

本計画に関する日本国側負担工事範囲とモルディブ共和国側工事範囲の区分の概要は下記の通りである。

(1) 日本国政府側負担工事

- ・第一期 多目的ホール棟、機材
- · 第二期 教室管理棟、機材
- (2) モルディブ共和国政府側負担工事
 - 1) 敷地整備工事
 - ・バスケットコート及び観覧席解体整地工事 (閣議以前に撤去移設工事を開始し、本施設工事開始以前に完了する)
 - ・造園、植樹工事
 - ・盛土
 - ・フェンス
 - 2) 基幹工事
 - ・設備幹線接続工事(電気引き込みのケーブルは日本側支給とする。)
 - ・電話回線の確保
 - ・排水管の接続工事
 - 3) その他必要工事
 - 4)業務負担及び費用負担
 - ・税金、課徴金の免税に関する手続き
 - 入国住居等許可手続き

第5章 事業の効果と結論

第5章 事業の効果と結論

モルディブ共和国は第2次国家開発計画の一環として1)教育の拡充、2)人材開発の推進、3)地域格差の是正を目指し、人材育成の努力を続けているが、このための社会教育施設が不足しており、十分な研修が実施できない状況にある。また、将来を担う青少年の健康と体力向上のための体育施設は、爆発的な年少者人口の増加により学校教室の確保が優先とされてきたため、その整備が遅れている。更に、モルディブ共和国が、最大でも2km²余りの小さい島々が集まってその国土を構成し、特に首都マレでは人口集中等により高い人口密度を持つという特殊性のため、総合的な土地利用政策が急務の課題となっている。

(1) 事業効果

このような状況のもと、1)体育教育、2)職業教育、3)知識普及教育、4) その他各種行事の実施できる多目的な施設をマレ島に建設することにより、以下の効果が期待できる。

1) 体育教育の充実

本施設において、体操、バレーボール等の教育が計画されており、多くの青 少年にスポーツ施設の利用の機会を与えることが可能となる。

2) 職業教育の充実

不足している中堅専門職員教育を、職員研修という形で行うことのできる施設であり、施設が少なく定期的な教育が実施できなかった状況が、解消される。特に、地方アトールの政府職員研修の充実は、国家開発計画の中でも、地域振興要員育成として重要な位置を占めるものとして、緊急テーマとなっている。

また、熟練労働力の不足が深刻な状況となっていることに対しては、写真と 規制服製作及び刺繍・裁縫での、労働力となる人材育成が促進される。本計画 施設は、モルディブ社会に必要とされる人材の育成に、大きく貢献する。

3) 保健衛生知識普及教育の充実

従来、一般住民向けに実施していたTV・ラジオ等による教育活動では一方的な情報の流布にしか過ぎず、どの程度理解されているのか十分に把握できなかった。市民と講師が直接対話することによって、モルディブにとって重要な保健衛生思想の普及活動の活発化が可能となる。

また、特に重要かつ緊急なテーマについて、小グループでのセミナーを実施

する場所を提供できるため、活発かつ効率よく保健衛生知識の普及活動が可能となる。

4)総合土地利用政策への貢献

試験会場としての利用、住民コミュニティ活動のための利用、公式会議や政府行事のための利用等、様々な目的のために利用することが可能で、土地の有効利用が極めて重要な政策課題となっているマレ島の土地問題の解決の一助となる。

(2) 運営管理方式

このような事業効果を達成するための、本計画施設の運営は以下のような方式に より、実施される。

1)維持・運営

本計画施設は非営利事業であり、維持運営費は大統領府が捻出することになっており、そのための予算を講ずる必要がある。従って、運営管理組織は、大統領府の中に新設される。ただし、教師と受講生にかかる経費及び教材費等は、管轄の省庁の負担であり、各省庁とも予想される予算を計上する必要がある。

2) 教師

セミナーや研修のための講師は a. 国連機関、 b. 青年海外協力隊、 c. モルディブ政府から派遣され、 a. , b. に関する技術協力の要請はすでに出されている。 また、モルディブ政府による新規の研修コースについては、講師経費を計上し、万全の準備体制を組む必要がある。

(3)結論

本計画の多目的施設は、モルディブ共和国の状況にてらして、社会教育のための適切な施設であり、国家開発の推進に大きな役割を果たすものと評価できる。これにより、社会教育施設の不足を緩和し、より多くの一般市民、青少年に平等な教育機会を与えると共に、国家開発の中堅となる人材育成に寄与するものであり、本計画をわが国の無償資金協力案件として実施することに十分な妥当性と大きな意義があるものと判断される。更に、本計画の運営・管理についてもモルディブ国側の関係省庁各々が予算計画を行っており、人員・資金共に十分であり問題ないと言える。

(4)提言

- 1)本計画は、日本・モルディブ両国の協力により実施されるものであり、モルディブ国側の負担工事の確実な実施が、本計画には不可欠なものである。特に工事着工前に行われる建設予定地の整備等が、遅滞なく実施されることが望まれる。
- 2)本計画の開始にあたって、国連機関や青年海外協力隊に依存している派遣講師については、モルディブ人の講師を教育することにより、その業務を現地側に順次移管し独力で教育活動を実施できるような努力が望まれる。
- 3) 将来計画としてモルディブ政府が多目的ホールに空調設備を取り付ける計画があるが、その場合には受変電設備の取り替えが必要となる。

[資料編]

資料編目次

1	調査	団	II;	名								٠					•			118
2	調査	日	程		•	•														119
	(1)	基	本	設	Ēþ	調	査													119
	(2)	ド	ラ	フ	ŀ	基	本	設	ă l	調	查	報	씀	書	説	明				124
3	面談	含	ij	ス	ŀ					•										127
	(1)	Ŧ	ル	デ	ィ	ブ		関	係	者		•								127
	(2)	E	連	機	Ų	/	ボ	ラ	ン	テ	1	7								130
	(3)	日	本	側	関	係	者													130
4	討議	議	#	録										•						131
	(1)	基	本	設	Ħ	制	查		•						•					131
	(2)	ド	ラ	フ	۲	基	本	設	āł	調	查	報	告	書	説	明				138
5	建設	子	定	地	関	係	資	料												141
	(1)	測	鼠	义			•							•					•	141
	(2)	ボ	-	IJ	ン	ク	資	料		-							-			143
	(3)	灵	象	デ		9				•								•		157
	(4)	材	料	調	查	資	*1													160
6	付属	参	考	資	料															164

1. 調查団氏名

〇基本設計調查 (1990年 2月1日~1990年 2月23日)

調查団長 松田卓美

外務省経済協力局無償資金協力課

計画管理 渡辺 学

国際協力事業団無償資金協力計画調査部

基本設計調查第二課

建築計画 小川 建

株式会社毛利建築設計事務所

建築設計 西野 諒

株式会社毛利建築設計事務所

設備計画 野村紳介

株式会社毛利建築設計事務所

○ドラフトファイナルレポート説明(1990年 6月13日~1990年 6月24日)

調查団長 松田卓美

外務省経済協力局無償資金協力課

建築計画 小川 建

株式会社毛利建築設計事務所

設備計画 野村紳介

株式会社毛利建築設計事務所

2. 調查日程

(1)基本設計調査

日順	月日	曜日	行 程	調査内容
1	1990年 2月1日	木		調査団成田発 → バンコク着
	2月2日	金		調査団バンコク発→コロンボ着
2			16:00~17:00 日本大使館 17:20~18:30 コロンボ	表敬訪問(高田参事官,神崎二等書記官) 表敬訪問,調査予定及び方針協議 (安木JICA所長)
			J. I. C. A 19:00 ホテル	外務省国際連合局経済課井龍一浩外務次官 と協議
	2月3日	土		調査団コロンボ発→マレ着
3			12:00~14:00 外務省 14:00~15:00 ホテル 15:30~16:45	調査の目的及び日程打合せ JOCV調査員幸氏と打合せ 建設地視察
			15:30~16:45 敷 地 17:15~18:15 ホテル 19:30~21:00	団内協議 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			21:00~02:00 ホテル	団内協議
	2月4日	E	9:00~13:30 外務省 9:00~11:30	要請内容協議 土質調査立合い
4			14:30~18:50 15:00~18:00	土質調査立合い及び公共事業労働省にて 打合せ 関連施設(ユースセンター, イスラミック センター等)視察 団内協議
	OBED		22:00~23:00 ホテル	要請内容協議
	2月5日	月	8:30~13:30 外務省 10:15~11:00	公共事業労働省にて打合せ
5			11:15~12:00 敷地 14:30~16:15	公共事業労働省と道路境界立合い 関連施設(カラファヌ小学校, マジディア 中学校) 視察

日順	月日	曜日	行 程	調査内容
	73 5-4	- IE I-1		
5	•		16:15~18:00 JOCV事務所	J.O.C.V 隊員と打合せ
			19:00~22:00 ホテル	
			22:30~23:00 ホテル	団内協議
	2月6日	水	8:40~11:30	要請内容協議
			外務省 11:30~14:00	 教育省開発センター視察
			9:20~10:30	 公共事業労働省と打合せ
			12:30~13:00	モルジブ気象庁と打合せ
6			13:00~14:00	 水道局と打合せ
			15:00~17:15	UNDP訪問, アミニア中学校, マレ英語 学校 (私立校) 視察
			15:00~15:30	 港,道路状況視察
	. ;		19:00~21:00	 調査団主催パーティー
		• ,	ホテル 21:50~04:30 ホテル	ミニッツ案作成
	2月7日	水	9:00~14:00	要請内容協議
		!	外務省 10:00~10:50	公共事業労働省と打合せ
			11:00~11:30	水道局と打合せ
			11:50~12:20	土質調査立会い
7			敷 地 12:25~12:40	モルディヴ気象庁と打合せ
			12:45~13:15	市役所と打合せ
			14:15~16:15	関連施設視察
			16:30~18:00 外務省	ミニッツ内容討議
	2月8日	木	8:30~10:00	団内協議、ミニッツ内容検討
	- /, O m	•	ホテル 9:35~9:50	公共事業労働省と打合せ
			10:00~10:50	土質調査立会い
			敷 地 11:00~11:45	· _ · _ · _ · _ · _ · _ · _ · _ ·
8	,		12:00~12:30	モルディヴ電気局と打合せ
			11:00~14:15 外務省	ミニッツ内容協議
	: "	<u></u>	-12	

日順	月日	曜日	行	程	調査内容
8			15:30~17	:00 外務省	ミニッツ内容協議
			17:00	外務省	ミニッツ署名
			19:00~02	:00 ホテル	団内協議・資料整理
9	2月9日	金	8:00~12	: 00	団内協議,資料整理 官団員マレ発→コロンボ着
	2月10日	土	9:30~11		団内協議
1 0			毛利マ 12:00~13		協議
			14:00~18	外務省 : 00	関連施設視察
	2月11日	日	10:00~10	: 30	水道局と打合せ
			10:00~11		協議
11			10:45~13	外務省 : 30	関連施設視察
			11:00~13 主利之	:00 レ事務所	資料整理
			13:30~14		公共事業労働省と打合せ
			15:00~17	:30 レ事務所	団内協議,資料整理
			19:00~22		ユニセフの三上氏, J.O.C.V の幸氏と 打合せ
	2月12日	月	9:00~11	: 45	関連施設視察 ジャマルデイン, カラファヌ小学校
			12:00~13	: 00	公共事業労働省と打合せ
1 2			12:00~13	: 30 外務省	協議
			13:30~15	・00 フ事務所	協議
			14:25~17		団内協議,資料整理
	2月13日	火	9:30~10		協議
1 0			10:15~14	外務省 :00	ダジュディーン小学校1.T.B 及び ブルービルを
1 3			15:10~16	: 30	JOCV隊員と打合せ
			16:30~17 毛利マ	:30 レ事務所	団内協議,資料整理
	2月14日	水	9:10~10	: 10	イスカンダル小学校訪問
14			10:30~11	: 30	マレ職業訓練所視察
	<u></u>				
				-12	

日順	月日	曜日	行	程	調査内容
1 4			12:00~12	:30 外務省	協議
1 4			15:00~18 毛利マ		団内協議,資料整理
	2月15日	木	9:30~10		協議
			9:30~10	外務省):40	公共事業労働省と打合せ
			11:00~11	: 30	市役所と打合せ
1 5			12:00~13	: 00	0.P.P.D と打合せ
			14:15~16	: 00	積算調查,資料収集
			16:15~17	: 00	カラファヌ小学校訪問
			17:15~19 毛利マ	l:30 レ事務所	団内協議,資料整理
l 6	2月16日	金	17:30~21	: 00	関連施設視察(クルンバ講堂)
	2月17日	土	9:30~10	:30 外務省	協議
1 7			11:00~12		敷地視察
. 1			14:30~15		協議
			16:00~18 毛利マ		団内協議
1	2月18日	日	9:00~12		団内協議
1 8			13:30~14		協議
				外務省	コンサルタント団員マレ発
				•	・ コロンボ着
	2月19日	月	10:00~10		調査結果報告
			11:00~12	本大使館 :00 ボJICA	調査結果報告
1 9			15:00~18		積算調查,資料収集
			20:00~24	:00 ホテル	報告書作成
	2月20日	火	10:50~12	:00 #J1CA	調査結果の報告及び書類提出
2 0			13:30~17	: 30	積算調查,資料収集
	<u> </u>				
.* .				-122	
		٠.			

日順	月日	曜日	行 程	調査内容
2 1	2月21日	水	22:00~23:00 ホテル	コンサルタント団員コロンボ発 シンガポール着 ボーリング調査結果について打合せ
2 2	2月22日	木	9:00~18:00	積算調査,資料収集及び ボーリング調査結果について打合せ
2 3	2月23日	金		コンサルタント団員シンガポール発 ↓ 成田着

(2))ドラフト	ファイ:	ナル説明	
日順	月日	曜日	行 程	調査内容
1	1990年 6月13日	水		成田発→
2	6月14日	木	18:00~20:30 ホテル	コロンボ発→マレ着 団内協議、ミニッツ案作成
3	6月15日	金	9:00~17:00 18:00~19:30 ホテル 19:30~21:00 ホテル	JOCVとの親睦会 (モルディブ側休日) 団内協議 ミニッツ案作成(野村)
4	6月16日	±	9:00~10:30 外務省 10:30~13:00 外務省 13:00~14:00 14:00~15:00 敷地 17:00~18:00 ホテル	合同ミーティング、ドラフト説明、 予定調整 外務省・OPPDとの個別ミーティング 昼食 視察 団内協議
5	6月17日	B	10:00~10:30 公共事業省 11:00~11:30 外務省 公共事業省 厚生省 12:00~13:00 外務省 敷地 エースセンター 13:30~14:30 ホテル 15:00~17:00	カマルディーン大臣と面会 協議(団長) 協議(野村) 協議(団長) 調査(小川) 協議(野村) 昼食 資料整理、連絡

									-			
	[·	·			<u>.</u>			_
	日順	月日	曜日	行	程 —————	: :	調	<u>査</u>	内 	容		
	6	6月18日	月	10:00~11	:00							. :
				· 5	外務省	協議(団						. :
				Į.	PPD	協議(小	川、野	村)				
				11:15~12	:15 方波堤サイト	調査(団	巨)					
					の仮売り11 改育省	協議(野						:
				i .	公共事業省	協議(小	574					
				12:30~13	:00	協議						
]	企業事業省			و مهود	mmt n å et			
				13:00~14		昼食 - 」	IICA大石	戊と	司席			
				14:30~17	トテル ・no	資料整理	!、連絡					
				1 .	E利事務所	347135-2	. у жели					٠.
			,	19:00~19	the state of the s	団内協議	1	* . *				
٠				×	トテル			:			:	
		0 11011	,i,	0.15.10	. 00	合同ミー		/1°				
	7	6月19日	火	9:15~10	: 3U N務省			· .				
				10:30~13	the first of the second of the second	外務省・	OPPD &	協議、	3 =	ッツン	メモイ	作
		•		9	사務省							:
				13:00		ミニッツ	に署名					
					小務省							
		•		13:30~14		昼食	•					
				15:00~16	ホテル ∷00	調査(小	川、野	村)			•	
				1	数 地							
				16:00~17		資料整理	、連絡					
				l	E利事務所	अस्त अंशास्त्र र	tab -	.				
				19:00~21	:30 トテル	調査団主	.催パー	アイ			_	٠.
				,	·) /v							
	8	6月21日	水	10:00~11	:00	団内協議			-	٠		
				ì	トテル							
				14:00~15		協議						
				1	公共事業省	細木			÷. :			. :
].			15:00~15	:30 牧地	調査						
	-			16:00~18		資料整理	!、連絡	. 1 1				
					毛利事務所	1 1 1 1	ega ing Taga ing					
	1 .			19:00~22	0.0	7 0 -9 1	ブ側主	144				

	<u> </u>	 	<u> </u>		
日順	月日	曜日	行	程。	調査内容
9	6月21日	木	10:00~12	:00	コロンボJICA提出書類作成
			. য	トテル	
			14:00~15	:00	団内協議
			2	2港	
		}			マレ発→コロンボ着
10	6月22日	金	9:30~10	:00	報告 (新納氏)
			J	ICA	
			10:30~13	:00	報告 (新田大使、小田切氏)
	·		. 7	大使館	
			14:00~15	:00	昼食
			1	トテル	
			15:00~17	:00	
			7	卜使館	協議(団長)
			7	スリランカ	別案件、JICAよりの要請で担当官と面談
			拳	效育省	(小川)
					建材調査(野村)
	·		19:00~22	:00	大使館、JICA、調査団、懇話会
			រាំ	トテル	
11	6月23日	土			コロンボ発→シンガポール着
	-		17:00~17	: 30	建材調査
			18:00~19	:00	団内協議
			1	トテル	
12	6月24日	日日			シンガポール発→成田着
1.	",""				

3. 面談者リスト

本プロジェクトの調査に当り、次の関係者の協力を得た。

(1) モルジブ側関係者

·Ministry of Foregin Affairs

Mr. Mohamed Shihab

: Director of External Resources

Mr. Abdul Hameed Zakariyya

: Asst. Director of External Resources

Mr. Ahmed khaleel

·Ministry of Planning and Environment

Mr. Hamdun A. Hameed

: Undersecretary

·President's Office

Mr. Abdulla Zameer

: Personnel Serrice Officer

·Ministry of Atolls Administration

Mr. Abdul Hamyd Husyn

: Project Officer

·Ministry of Health and Welfare

Mr. Mohamed Rasheed

: Asst. Director of Planning and

Co-ordination

·Ministry of Tourism

Mr. Ahmed Shameem

: Asst. Director

·Ministry of Jastice

Mr. Mohamed Hassan

: Sr. Undersecretary

· O. P. P. D.

Mr. Mohamed Gasim

: Architect

Mr. Ibrahim Rafeeq

: Structural Engineer

· Youth Centre

Mr. Hussain Mohamed Didi

: Administrator

Mr. Abdul Latheef Mahamood

: Youth Officer

Mr. Abdul Ghanee Ismail

: Senior Secretary

Mr. Zakariyya Hussain

: Programme officer

·Ministry of Education

Ms. Asima Mohamed

Mr. Hamid A. Ghafoor

Mr. Abdul Ghanee

Mr. Ismail Naseem

Mr. Abdul Sattar Hassan

Mr. Ahmed Ali Maniku

Mr. Ibrahim Waheed

Mr. Mohamed Yoosaf

·Kalaafaanu School

Mr. Rasheed

·Majeediya School

Mr. S.G. Samuel

Mr. Zamire

Mr. Hameed

Mr. Amarasena

·Aminiya School

Mr. Shirley Windus

·Jamaaludheen School

Mr. Ismail Wajeeh

·Taajudheen School

Ms. Rashida Ywosut

·Iskandar School

Ms. L.S.G. De. Silva

·Male' English School (Private)

Mr. Ali Musihata

: Undersecretary

: Supervisor of Physical Education &

Sports

: Asst. Director of V.T.C.

: Sr. Educational Administrator

: Deputy Director of Nonformal

Education Unit

: Ast. Director of I.T.E.

: Asst. Director of Department of

Public Exam.

: officer of E.D.C.

: Asst. Prircipal

: Principal

: Physical Training Instructor

: Asst. Principal

: Acting principal

: Principal

: Asst. Principal

-128-

·Ministry of Public Works and Labour

Mr. Abdulla Kamaludeen : Minister

Mr. Ahmed Ashraf

: Asst. Project Officer

Mr. Maizan Ibrahim Maniku : Director of Public Works

·Department of Information and Broadcasting

Mr. Abudullah Rasheed

: Director

·Maldives Water and Sanitation Authority

Mr. Farroq Mohamed Hassan

·Male' Municipality

Mr. Abudullah Saleen

·Department of Meteorology

Mr Tsmail Zahir

: Asst. Director

·Maldives Electricity Board

Mr. Mohamed Rasheed

: Senior Engineer

Mr Ibrahim Hassan

: Senior Electrical Engineer

(2) 国連機関/ボランティア

·UNDP

Ms. Maxine E. Olson

Mr. Natsuki Hiratsuka

·UNICEF

Dr. Cornel J. Goudswaard

Mr. Tatsuru Mikami

·青年海外協力隊

幸伊作調整員

護守陸子隊員

小川博正隊員

本敏和隊員

森本いづみ隊員

山崎千鶴隊員

斎藤享隊員

浅川尚昭隊員

若山聡隊員

: Resident Representative

: Deputy Resident Representative

: Asst. Programme Officer

:写真/ユースセンター

:体育/教育省

: バレーボール/ユースセンター

:薬剤/パブリックヘルスセンター

: 看護/中央病院

: 体育/スポーツ内務省

: 体育/屋内スタジアム

:体育/スポーツ内務省

(3)日本側関係者

- · 外務省国際連合局経済課 井龍一浩外務事務官
- ・在スリランカ日本大使館 新田勇特命全権大使 高田稔久参事官 久保田英二等書記官 神崎義雄二等書記官
- JICAコロンボ事務所

所長 安木秀夫 山下寿郎 新納宏

4. 討議議事録

(1) 基本設計調査ミニッツ

HIMUTES OF DISCUSSIONS

THE PROJECT FOR CONSTRUCTING THE CENTRE FOR SOCIAL EDUCATION

IN

THE REPUBLIC OF PALDIVES.

In response to the request of the Government of the Republic of Maldives, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project for Constructing the Centre for Social Education (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"). JICA sent to the Republic of Maldives the study team headed by Mr. Takumi Matsuda, Official, Grant Aid Division, Ministry of Foreign Affairs, from February 1 to February 23, 1990.

The team conducted the field surveys on the Project site and had a series of discussions on the Project with the concerned officials of the Government of Maldives.

As a result of the study, both parties have agreed to recommend to respective Government that major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Male', February 8, 1990

Fakumi Mattula

Takumi Matsuda Team Leader,

Basic Design Study Team, JICA Abdul Hameed Zakariyya Assistant Director, External Resources

Ministry of Foreign Affairs, The Government of the Republic of Maldives

ATTACHMENT

1. Project Name

The name of the Project is "The Project for Constructing the Centre for Social Education."

2. Objective of the Project

The Objective of the Project is to construct the facility and to provide the equipment to expand educational opportunities.

3. Executing Agency

The Ministry of Foreign Affairs will be responsible for executing the Project during the construction period. The Ministry of Public Works and Labour will be responsible for the implementation of the Project during the construction. After the completion of construction, a new organization under the President's Office will be responsible for maintenance and administration of the Centre.

Besides, each Ministry and/or organization using the Centre will allocate the necessary budget to carry out different programmes/courses/activities in the Centre.

4. Request of the Government of the Republic of Maldives

The Government of the Republic of Maldives requires the facility and equipment for executing the following activities:

- / development of gymnastics
- z conducting national level examinations
- 7 development of health information dissemination services
- 9 training Government officers
- t designing ready-made garments and embroidery
- b language training

5. Project Site

The site for the Project is located at Male! as shown in Annex 1.

6. Grant Aid Programme

- 6.1) The Haldives side has understood the system of Japan's Grant Aid Programme and the principle for the use of Japanese consulting firm and contractor for the implementation of the Project.
- 6.2) The team will convey to the Government of Japan the desire of the Government of Maldives that the former takes necessary measures to cooperate in implementing the Project and provides necessary facilities and equipment under the Japan's Grant Aid Programme.
- 6.3) The Government of Maldives will take necessary measures as shown in ANNEX II on condition that the Grant Aid by the Government of Japan would be extended to the Project.

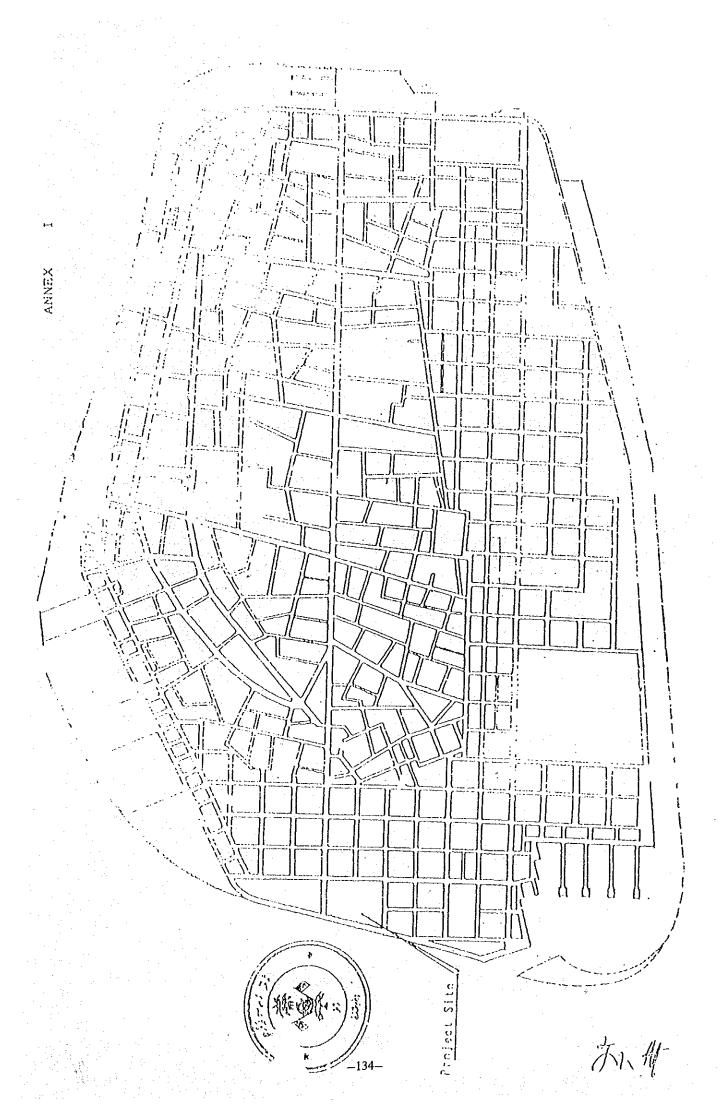
The Government of Maldives will provide facilities for the distribution of telephone and drainage leading and up to the site. The issue of provision of facilities for distribution of electicity and water supply will, however, be discussed and sorted out at the time of despatch of another team.

7. Reporting

A draft final report including an appropriate layout and design will be prepared after the home office work in Japan.

The team mentioned in paragraph 6.3 above will explain it to, and discuss it with, the concerned officials of the Government of Maldives.

FIN



Necessary measures to be taken by the Government of Haldives:

- 1. To secure the site for the Project
- 2. To clear and reclaim the site prior to the commencement of the construction work
- 3. To ensure prompt unloading, tax exemption and customs clearance of the Project goods at the port and/or airport of disembarkation in the Maldives
- 4. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contracts such facilities as may be necessary for their entry into the Republic of Maldives and stay therein for the performance of their work
- 5. To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Republic of Maldives with respect to the supply of the products and services under the verified contracts
- 6. To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and the equipment provided under the Grant Aid
- 7. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant Aid necessary for the execution of the Project

于小州

LIST OF PARTICIPANTS

Maldives Delegation

. 1.	Mr. Mohamed Shihab Director of External Resources	Ministry of Foreign Affairs
2.	Mr. Abdul Hameed Zakariyya Assistant Director External Resources	Ministry of Foreign Affairs
3.	Mr. Hamdun Hameed	Ministry of Planning and Environment
4.	Mr. Ibrahim Manik	Ministry of Public Works and Labour
5.	Mr. Ahmed Ashraf	Ministry of Public Works and Labour
6.	Mr. Mohamed Gasim	Office for Physical Planning and Design
7.	Mrs. Asima Mohamed	Ministry of Education
8.	Mr. Mohamed Rasheed	Ministry of Health and Welfare
9.	Mr. Ahmed Shameem	Ministry of Tourism
10.	Mr. Abdul Hamyd Huseyn	Ministry of Atolls Administration
11.	Mr. Mohamed Hassan	Ministry of Justice
12.	Mr. Abdulla Zameer	President's Office
13.	Mr. Hussain M. Didi	Youth Centre

Japanese Delegation

1. Mr. Takumi Matsuda Grant Aid Division	Ministry of Foreign Affairs
2. Mr. Satoru Watanabe Basic Design Study 2nd Divisi	on JICA
3. Mr. Tatsuru Ogawa	Nohri Architect and Associates
4. Mr. Makoto Nishino	Mohri Architect and Associates
5. Hr. Shinsuke Nomura	Mohri Architect and

Fn-11

(2) ドラフト基本設計調査報告書説明ミニッツ

MINUTES OF DISCUSSIONS

ON

THE DRAFT REPORT OF BASIC DESIGN STUDY

ON

THE PROJECT FOR CONSTRUCTING
THE CENTRE FOR SOCIAL EDUCATION

IN

THE REPUBLIC OF MALDIVES

In response to the request of the Government of the Republic of Maldives for the Grant Aid project for constructing the Centre for Social Education (hereinafter referred to as "the Project"), the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA), JICA dispatched a study team to the Republic of Maldives, headed by Mr. Takumi Matsuda, Grant Aid Division, Economic Cooperation Bureau, Ministry of Foreign Affairs of the Government of Japan, from February 1 to 23, 1990.

As a result of the study, JICA prepared and submitted a Draft Final Report on the study and dispatched a Mission to explain and discuss it from June 13 to 24, 1990.

Both parties had a series of discussions on the Report and have agreed to recommend to their respective Governments that the major points of understanding reached between them, attached herewith, should be examined towards the realization of the Project.

Male', June 19, 1990.

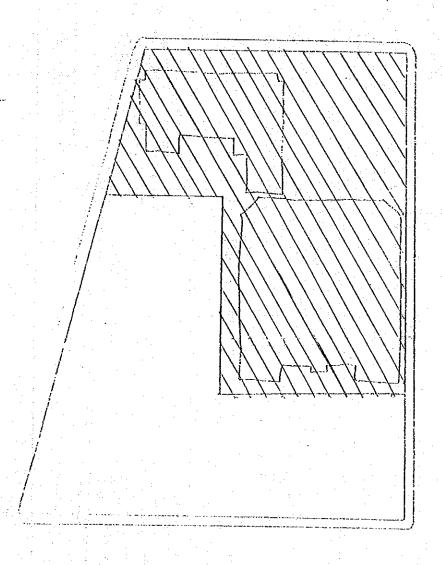
Japuni (Motonda

Mr. Takumi Matsuda Team Leader Draft Report Team of Basic Design Study Team JICA Mr. Mohamed Shihab
Director of External Resources
Ministry of Foreign Affairs
The Government of the
Republic of Maldives

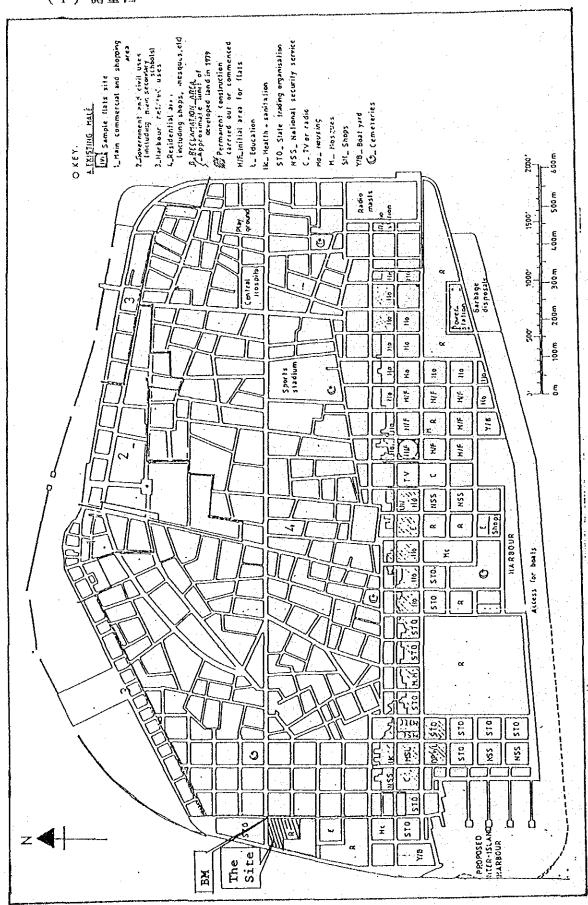
ATTACHMENT

- 1. The Maldives side agreed in principle to the basic design proposed in the Draft Final Report (with minor but appropriate alteration mutually agreed upon to be incorporated in the Final Report).
- 2-1. The Maldives side understood the system of Japan's Grant Aid and confirmed the necessary measures to be taken by Maldives side which are manifested in the ANNEX II of MINUTES OF DISCUSSIONS on the Project signed on February 8, 1990 (hereinafter to referred to the Minutes).
- 2-2. The Maldives side agreed to provide facilities for distribution of electricity, telephone, drainage, and other incidental facilities to the Project site at its own expense, set forth in Article 6.3 of the attachment to the Minutes.
- 3. The Maldives side agreed to remove at its own expense, the two basketball courts, spectator seats and other objects existing at the Project site as soon as possible.
- 4. The Maldives side ensured that the necessary budget and the adequate number of personnel for the effective operation and maintenance of the facilities and eqipment provided under the Grant Aid would be secured.
- 5. The site for Project is the hatched area marked in ANNEX (approximately 6,000m²).
- 6. The Final Report (10 copies in English) on the Project will be submitted to the Maldives side by the end of August, 1990.

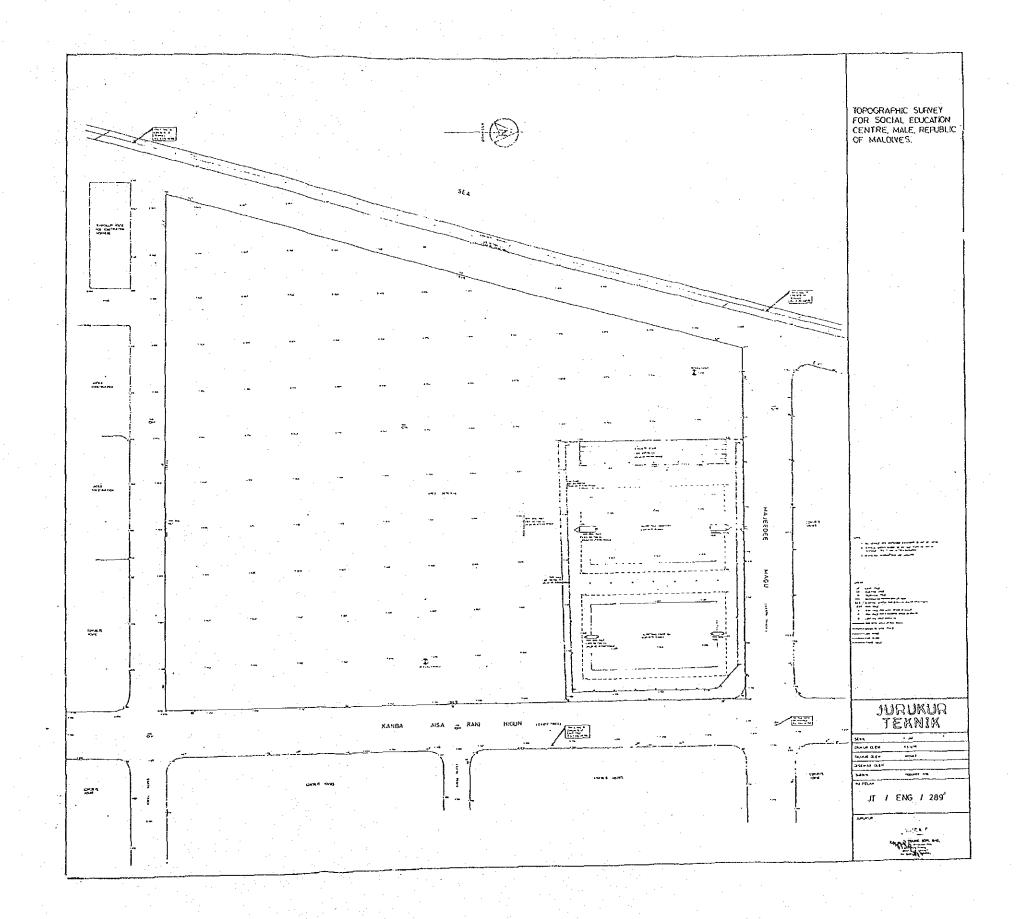




De The



re l Location of Project Site



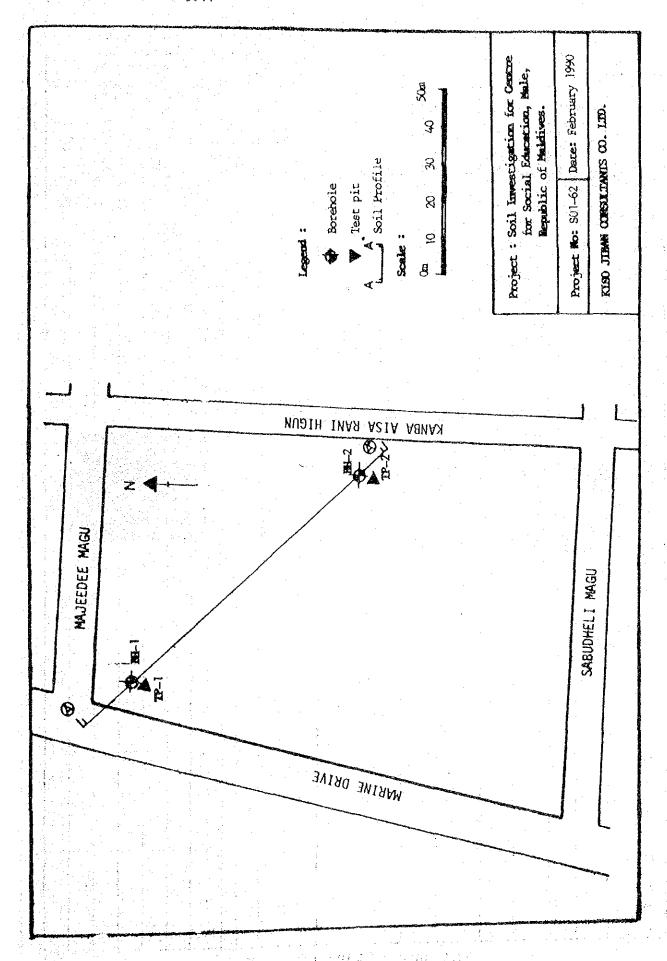


Figure 2 Locations of Exploratory Drilling and Test Pits

## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##			Table	r α -(, m		vation	RL +1.0	Driller		bon (1			- -	RL 0.0)m ≈ 1	re Soni IPWL IC	00,0m		4	:
See 2		- 1	ii B	1	Ę.	ų	1		eneit tency	i was	Samp	ling										
10 0.00 10 1.50			tion	th u	ness	88	8.	olo	S S S S S S S S S S S S S S S S S S S		급립	old o	lue			1			Value	0 5		
1 00 000 155 25 27 27 20 10 155 25 27 27 20 10 10 155 25 27 27 20 10 10 155 25 27 27 20 10 10 155 25 27 27 20 10 10 155 25 27 27 20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		တ္တိ	Sleva	Teg .	Thick	1	8		Selat.	¢Der	द्व	SAN	N-Ve	8	0 0		RCC)	CR			
2 2 3 3 1 1 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5	-		1.00	0.00		6.4		Habi avan		(3) Will shall	:				-	2	20 4	0 6	0 8	0 1	20%	
1		1	0.0	1.50		0 23	sord	Light 9 sy	10000	fragments, plastic,	1.55	P=1 =	7		1				}			
9 - 2.0 320 170 70 5 500 70 10 10 10 10 10 10		2	-0.50	1.50	1.50	¥ 2.	Cord	Light gray	icdium	With gravel size cord. (No foreign					Ĭ,		<u> </u>				1	-
Cord		3	-2.20	3.20	1.70										1,	/-					1	
17 9 6 2 17 18 18 18 18 18 18 18		4					kordi	Mila to Hight grey	Very loose to medium	lskelilan like card	(5		10	 , ,	1							
6 7		5						İ		sity sond. Boxider size corol is possible.	i l				1,				}			
8 10 -8.80 9.80 6.60 6.50		6				١								\prod	1		Z		}			
8 9 9.50 6.60 52 1/20 1/2		7				2					i			11		1						
8 10 -8.80 3.80 6.60 25 Cord rook Walte Finisht by hornor. 10.00 Co-1 11.50 Co-2 13.00 Co-1 14.50 Co-2 13.00 Co-3 14.50 C		В				25					[]				-	.						
10 - 3,80 9,00 6,00 2 5,00 10,00 11,00 11,00 12,00 13,00 14,50 1		9				83								П								
11 12 13.00 14.5		10	-8.80	9.80	6.60	β• XXXX	Cad In	S While	<u> </u>	Cobble hu horimer	1 '	P=9 3	1/	-	9		•				1	
12 13 14 -13.50 14.50 17.00 14.50		11						T MIXIC		make by hanna.		C-1								į	91/10) .
13 14 13.50 14.50 17.00 14.5		12					:				ł											
14 - 13.50 14.50		- 1				XX					1	C-2									94/1Q	}
15 -CHO OF XRICHIC- 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 30		J	:								į .	C~3									94/10	ř.
18		15	-13.50	14.50	4.70	XX	-	-END OF	XILUNG-		14.50			$\ \cdot \ $					1			
18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		_]																	7.			
16 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		17																				
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30		}			İ		į											}			-	ľ
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30					}]								Ī			
21 22 23 24- 25- 26- 27- 28- 29- 30-			,																			
22 23 24 25 26 27 28 29 30								ļ					:								-	
23 24 25 26 27 28 29 30																						ĺ
24 25 26 27 28 29 30		1													.	1	-			<u> </u>	-	
26 28 29 30						ļ					.							[†			
28 27 28 29 30																		1				
27 28 29 30							1													 ا	-	
28 29 30 30 30 30 30 30 30 3																	-	 -	 - -	<u> </u>	 -	
29 30							-										-		 			
30			}															-	 			
																			 			
31													2-						 	ļ		
KISO-JIBAN CONSULTANTS CO.,LTD. Page.A1		31	L:		<u>L</u>	<u></u>		<u></u>	<u></u>			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		1		<u></u>	<u></u>	<u></u>	Δ_	i i

			·			F	IG A	-2	DRILLI	NG		L	<u> </u>	\sim I		Dama				
1.7		No.		-62 8H-1		Mad	lre for Socio lives		:2P-	of Dril		Rolary		borin	γ p	Remo. SPIS	ooon S	xnple		
_		Numb Table		-0.4	·		vation	RL +1.	10n m. Dalo	6/2/	90 - 7,	/2/90				NИLC 0.0m ≈			n	.
ř	ALET			T s	n	ր. 1		 _	Drille	Kiso-	Jibon ((Wong)			L				···	
4	E S	E	ä ä	e.	g.	Į,	ļ ,	titve Density Consistency	enetal Remark	Sain	pling					Pene Reco				
	Scale i	Elevation	Depth 1	Thickness	Legend	los jo	Colour	4 777	ai Re	H E	e je	9 ff	Blo	n Par	7		N -	Valu	ıe	
				jr		£.		Relative or Cons	Seper	Pept H	Sample No.	N-Value Sow/Som	9			10 R		30 ⊐cs		50
V		_1.10_	0.00	 	0.31.	Crawlly	Light grey	Vedium					Ä		1			60		100%
Ϋ́	1	-0.40	1.50	1.50	000	sond		RECURSION N	Milh cobble and boulder. With shell fragments, plastic, wood and etc.	1:13	P=1	14	5 5		-	•			ļ	
	2				6	Sond	Mile	loose and medium	Sand to composed of shell tragment and	315	ρ-2-1	1	4]-	V.				
	3				o B				cord.	} 15 3.45	P=3]	8	3	2]-	-				
-	5				25					1.18	P=4	7_	3 2	2		{}				
	в		·		ę.					5.15 5.45	P=5	10_	4	3	 -	\ •				
•	7	·			6					6.15 6.15	P-6 p	10	3 3	1	-	•	1	 	<u> </u>	
1	8				<u>.</u>					3.15	P=7_8	11	3 4	4	-					
1	9	-7.70	8.80	7.30		Crowdly	light grey	Medium	Milh sit. (Wealhered	8 15 8 45	P-6		7 (6	6	-					
	10		-		X X	sond	(4. 4.)	meorum)	cord reck.)	9.15 9.45 10.15	P=9			8	-					
	11	~9.60	10.70	1.90	XXX	Caral rock	Light brown		friable by hommer.	18.15 11.00	P=10 g	13_	5 (3		8 ~	-		-	
	12	A 4						,	Honey combad zones ora present,		C-1								87	100
	13									12.50	C-2							<u> 60 –</u>		100
	14									14.00										
	15	-14.40	15.50	4.80						15.50	C-3							65		100
	17						~END OF	orilling-	·								 -			
	.18															-}				
	19			·		·														
	20		ļ	÷																
	21															ļ.,				
	55						.													
	23																			
	24					٠.														
	25			 																
	26							·											L	
	27			14	İ	-										 				
	28								÷			Ì			 	 				
	30		4													 				
	31					3					:		. .							

TEST
L O
DESCRIPTION
5

Project No.: 501-62	Test Pit No.: TP-1	Date: 6/2/1990 i		Top Soil: Light brown gravelly sand with shells.	White sandy coral gravel with cobble and boulders		Plastic, cloths rubber, wood, bottle etc. (Garbege).	Black colour.	Natural Ground: Light grey coral sand with gravel and shell fragment.	S. W Indicate 4 Sides of Pit
ַ ב ב	dives	Engineer: Mezz.	3	0 0				a la la la la la la la la la la la la la	0 0	N, M,
	: Social Education, Male, Maldives	st Elevation: N. 0.2m	\$	000	\$ 0000				e	
あっていると	Soil Investigation for Centre for	per: Mr. +1.0m Test	L.		0 0					
	Project: Soil	Ground Elevation:	æ		0.00	3000				KISO JIBAN CONSILIANTS CO
		ć		0	Sale Andrews (44 Cally 13 April 19 The Base Style Cally Sale Announce Annou	1/6		.		KIS

- -146-

FIGHE

KISO-JIRAK CONSULTANTS CO., LTD.

of Pit

Indicate 4 Sides

., .≆

Table 2 Quantity of Laboratory Work performed

[est	Chloride Content (No.)	r-d	î - 4	e4	т
Chemical Property Test on water sample	Total Sulphate Content (No.)	₽ŧ	r-I	 -	n
Chemical on wa	PH Value (No.)	- -t	Ħ		,es
oil sample	Chloride Content (No.)	-	, (0)		n
Chemical Property Test on soil sample	Tota:) Sulphate Content (No.)	-	2		т
Chemical Pr	PH Value (No.)		22	1	ю
l sample	Sieve Analysis (No.)	4	4	,	∞
Index Property Test on soil sample	Specific Gravity (No.)	ຕ	4		2
Index Proper	Natural Water Content Test (No.)	4	4		œ
	Borehole Number	ВН-1	89-2	- E	Total

TABLE 3.1 SUMMARY OF SOIL TEST Centre for Social Education Male, Maldives (SOI-62) Slandard:

Project:

Standard:

B.S.1377 ± 1975

	all and the second of the second									
Borehole	No.		BII	l- I			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	BII-2	<u></u>	
Sample	No.	P-1	P-2	P-5	P-9	P-1	P-2	P-5	P-7	P-10
Sample	depth	1,06m ~1.45m	2.60 m ~2.45 m	5.00 m	9.00m ~ 9.45m	1.00m	2.00m	5.00 m	7.00 m	10.00 m
Condition	n of sample	D	D	D D	D D	D	~ 2.45m D	~5.45!!! D	7.45 m D	D D
Malural	water content, %	36.4	32.3	24.9	34.9		31.7	32.6	33.4	24.9
Specific			2.821	2.809	2.797		2.824	2.865	2.865	2.828
iel dens	~~···			-				- .	-	
Dry dens	sily, kN/m ³		_	_	-	_	_			-
Malural	void ralio		***	-	- 2 T	-	_		-	: -
legree o	saturation, %		-	_	-	-	-	_		· -
F.B	Liquid limit, %	_	 .	_	:		_	<u>.</u>	· 	_
Atterberg limits	Plastic limit, %		-			-			-	
Atte	Plasticity index		<u>-</u> .	_	-		-	-		_
	Gravel ,%	12	33	31	41	-	23	2	2	27*
Sis	Sand ,%	78	57	44	43		66	88	88	54*
analysis	Silt ,%	1.0	14.	0.5	1,4	· –			10	. 19*
	Clay & colloid ,%	-10	10	- 25	-16		· 11 -	10	10	19
Grain size	Max. diameter ,mm	19.1	19.1	19.1	19.1	-	19.1	9.52	4.76	19.1
Gra	Diam. at 60% ,mm	0.46	1.42	1.28	2.10		0.83	0.65	0.54	0.34
	Diam. at 10% ,mm	0.074	0.074	-	_	-	-	0.09	0.073	
	soil description	Sand with Silt	Sand with Sill and Gravel	Silty Sand with Grovet	Sitty Sand with Grovel	Sond with Silt and Gravel	Sand with Silt and Gravel	Sand with Silt	Sand with Silt	Sand with Silt and Gravel
	ed Soil (fication	SW-SM	SW-SM	SM	SM		SW-SM	SW-SM	SW-SM	SW-SM
Unconfined compression test	Undisturbed sample, kPa	-	-			-		-	-	-
Consoli— Triaxial Unconfined dation compression test test	Strain at failure, %	_	-	 ,			- '	_		~
sion	Angle of internal (riction (°)		-	-	- '	-	-	-		-
ıxıal ıpres	Cohesion Intercept, kPa	_		-		-	-	-	:-	-
Triaxial compression test	Condition of drainage	-	- <u>-</u>	-		-	-	-		
Consoli– dation test	Preconsolidation pressure, kPa	_		-	-			_	_	
Con dat test	Compression Index	_	-			-		-		
a!	pH value	8.0	-			8.1	8.2	-		
Chemical test	Total sulphate content as SO3, (%)	0.48	_			0.50	0.42			-
	Chloride content (%)	0.13	_		-	0.14	0.14			
emarks :										

emarks :

D : Disturbed

* : Amount of sample for test is insufficient

-150--

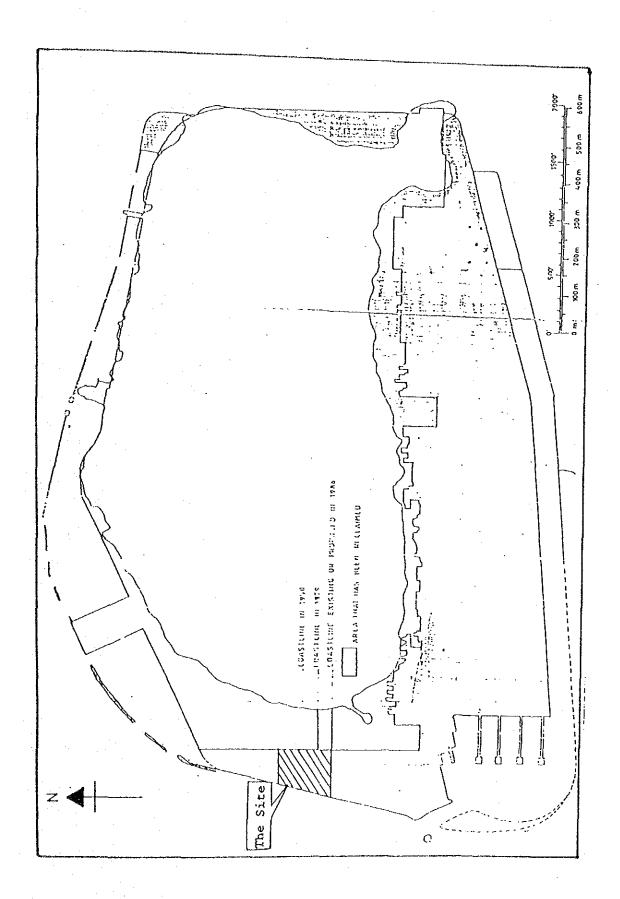


Figure 3 Site Location in Relation to Reclamation Map of Male

Table 3.2 Results of chemical tests for water samples

	Depth (m)	PH Value	Total Sulphate Content (as SO3), (g/litre	Chloride Content (as Cl), g/litre
	1.00	7.4	0.53	4.48
~ 1	1.00	7.4	0.65	6.37
	•	7.9	0.33	1.32

GRAIN SIZE D											
Project <u>id al</u>	is for	ocio ² Idives	AL Ed.	i essi. Ol	b No.			SC1-	l, 2		
Location of Pr								§H:			
Tested by											
Sample No., Depth: No.		P-5		(5.00)	n - 5·45	(m) Sp	ecilic Gra	ivity, Gs=		2.809)
Diam. ma 50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0:42	0,25	0.105	0.074
n % Passing			100	95·U	<u>, ĉ 1</u>	17.0	53.9	44.1	36.7	31.9	34.8
Diam. wa					********						
Sample No., Depth : No		P-9	<u>}</u>	(9.60 i	ın Ç.UY	m) Sn	ecific Gr	avity, Gs=		2.797	
o Diam. um 50.8		25.4	19.1	9,52	4,76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
% Passing			100	95.6	71.6	59.3		29.9	₹3.4	-	16-0
o Diam. nu											
2 % Passing			<u></u>	l			<u> </u>				
			Sieve [105 µ	120 µ	140 µ	1000 h	1760 µ	52 sa 19.1	25.6 == 50.8 x	•. Shiring Shiring
Grain-Size Grain-Size 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	Distribut		es	e.i Grain di	D. D. ameter,			9	Gra	50.0	
Colloid Clay	0.005	Silt	0,07	14	Sand		1.0		Gra	VC1	
Sample No., Depth	No. D-			- 9.44 m		e No., Del	pth S	00m - 5·	45 m	No. P- 9.00 m-9	9.45 m
Larger than 4.76mm	15	%	2		Max. di			19.1	MR.	19-1 2-10	3478
1.76~2 mm	16	%	<u> </u>		Diam. a			1-28 0-14		2-10 0.42	
2-0,42 mm	₹5	%	'> ال		Diam. a	• • • • • • • • • •		!!!!!! —	ne.	V.44	7èiq
0.42-0.074 mm 0.074-0.005 mm	19	. %)	*		nt of uniform	ity				
Smaller than 0.005mm	}-25	%		6%		nt of curvatu				····	
Smaller than 0.001am		%	-	- %							
2000 Sieve Passing	69	%	5	9 %		 				6 % 	
420µ Sieve Passing	цц	%	3	0 %							
74µ Sieve Passing	25	%		b %		•					

mple No., Depi	th: No.		P-2		(2.00	m ~:·U<	,m) Sp	ecific Gra	avily, Gs=	>	-824	
Diam. ma	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
% Passing	,	·	[. ILO	94 6	કૃદ-પ	76-5	رر. ل	-: 7	₹6. €	H D	11-6
Diam. 🗠											[]	1
% Passing		1	L	·			1	[]	1		L^{J}	l
mple No., Dept	th No.		P-5		(5.00	m - 5·US	(m) Sp	ecific Gra	avity, Gs=		: 865	
Diam. 144	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0,25	0.105	0.074
% Passing				1	160	63.3	97.7	- 72-4	կղ.4	3.85	11-0	9.5
Diam. ==		1		1				[]				
% Passing	,	1	1	1		,	1	,,	,	,	/	

	Sieve		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	- 100	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1.34	13.1 32 30.8 55
	Sicve	الله	250 y	I	10	1764		.1 = 35.1 ==
	.	 सन्दर्भ	++,,,,,,,,,	· 	10 # . []-[]- []- []- []- []- []- []- []- []- [, ,	
Grain-Size Distribution	Curves		丰田 ::::					
52								
			1 1 2 1 2				(r - 2	
10								
			D _ E ===					
50				1				
30				1				
			2					
10								
0.001					1.0	L	10.0	50.e
		G	rain diame	eter, nn			-	

Colloid	Clay	Silt		Sand		Gravel	· .
0.001	٠.	.905 8.	976		1.0		

	No. 9-2		No. P-5			No. P-2	No. P-C
Sample No., Depth	2.00m~2		\$ 00m ~ 5.1		Sample No., Depth	2.00m -2-45 m	5-00 m ~ 5.45 m
Larger than 4.76mm	14	%	1	%	Max. diam.	19 1 ***	3.52 mm
4.76~2 mm	۶	%	1	%	Diam. at 60%	t·83 ===	0.65 ***
2~0.42 mm	33	%	54	%	Diam. at 30%	0.58 ***	0.52 ma
0.42~0.074 mm	33	%	34.	%	Diam. at 10%	- A4	0.09 "
0.074~0.005 mm	} ,,	%	110	%	Coefficient of uniformity		7.22
Smaller than 0.005mm		%	10	%	Coefficient of curvature		1.07
Smaller than 0.00100		%		%			
2000 µ Sieve Passing	77	%	98	%			
420μ Sieve Passjng	44.	%	44	%			######################################
74µ Sieve Passing	11	%	10	%			

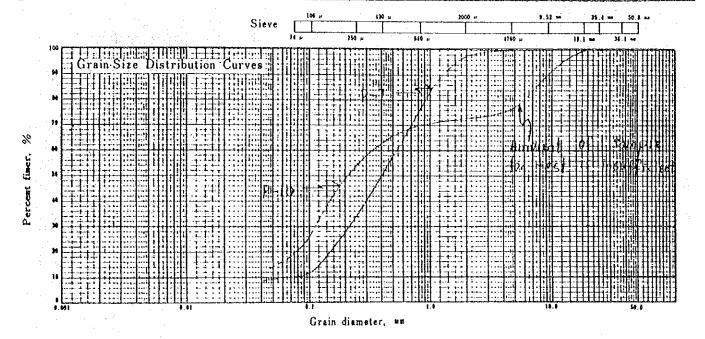
Project Male Maidives Job No. 291-12

Boring No. <u>FH-2</u> Location of Project __

Tested by __

Date of Testing

ample No., Dep	th: No.		P-1		(7.00	m ~ 7.44	(m.) Sp	ecific Gr	avity, Ga=	= 2.	865	
Diam. an	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
% Passing						150	:7.5	76.8	51.3	₹3.9	12 · 3	10 0
Diam.												
% Passing											· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
ample No., Dep	oth : No.		P-10		(10.00	ж10-43	(m.) Sp	ecilic Gr	avity, Gs=	=	z 8 z 8	
o Diam. **	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
% Passing				100	91.0	76.0	73.3	70-1	63.6	59.7	28.1	18.6
71						-			1			-
Diam. aa	l	1]			1		•		1		i



				1
Colloid	Clay	Silt	Sand	Gravel
F. NO.			914	1.1

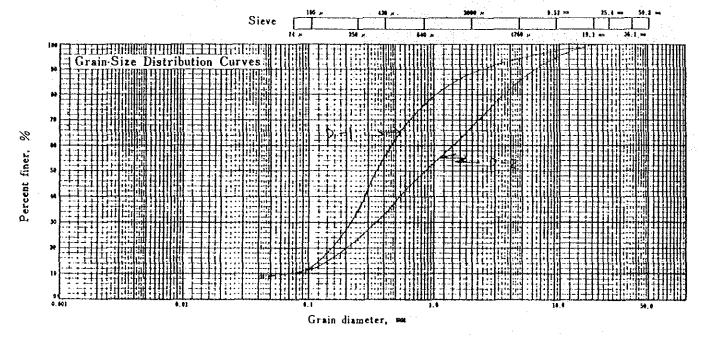
	No. P-	<u> </u>	No. P-1	0		No. P-7		No. 8-10	
Sample No., Depth	7.00 = ~ 7		10.00 = -10	.u⊻*	Sample No., Depth	7.00 m ~ 7.1		10.00 * ~ 10.0	
Larger than 4.76mm	0	%	24	%	Max. diam.	4.76	6/8	19-1	為年
4,76~2 **	Ζ	%	3	%	Diam, at 60%	0.54	1948	0-34	発表
2-0.42 mm	47	%	٩	%	Diam. at 30%	ひとと	#6	0.11	為泉
0.42~0.074 mm	41	%	45	%	Diam. at 10%	0.073	59		> 7
0.074~0.005 mm	7	%	1.0	%	Coefficient of uniformity	7-4.0			
Smaller than 0.005mm	10	%		%	Coefficient of curvature	1.53			
Smaller than 0.001==		%		%			* .		
2000 Sieve Passing	98	%	13	%			· .		
420µ Sieve Passing	51	%	64	%					•
74µ Sieve Passing	10	%	19	%					

GRAIN SIZE DISTRIBUTION

contre for social Education

Propose Male, Maldives	Job No. 501-62	~
Location of Project	Boring No. PH-1	_
Tasted by	Date of Testing	

Sar	mple No., Dep	th : No.		9-1		(100	m ~ 1.4x	**) Sp	ecific Gra	vity, Gs=			
e	Diam. ==	50.8	38.1	25.4	19.1	9,52	4.76	2,00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
Sie	% Passing	,			100	96.7	Y3·5	88. 4	76.5	5₿∙ գ	34.5	12 · 0	10-5
	Diam. 🖦]		
0	- <i>-</i>		1	1		1	1			l	ł	{	
Ŧ	% Passing					1							
لىب	% Passing	eh No.		P-3		(2.00	* ~5·43	(ms.) Sp	ecific Gra	l wity, Gs=	-	7.85	<u> </u>
Sar	L	sth : No. 50.8	38.1	p-2 25.4	19.1	9.52	m ~2·43	(ms.) Sp 2.00	ecific Grz	vity, Gs=	0.25		0.074
) A!	siple No., Dep		38.1		19.1		7-7	2.00				Z-8-S	 -
dro. Sieve S Hydro.	suple No., Dep		38.1	25.4		9.52	4,76	r 	0.84	0.42	0.25		0.074



					and the second of the second o	The second secon	4. 6
Colloid Clay		Silt			Sand	(Gravel
4,001	1.116		9,074			2.8	
Sample No., Depth	No. P-1 1.00 = 1.4	× **	No. P-2 2.00 m-2.6		Sample No., Depth	No. P-1 1.00 = -1.4x	No. P-2 2.00m-2-44m
Larger than 4.76==	6	%	14	%	Max. diam.	19-1	19·J BHS
4.76~2 xm	Ь	%	19	%	Diam. at 60%	0.46	1.45 84
2-0.42 ***	32	%	34	%	Diam. at 30%	0.55 🕶	0.35 ***
0.42~0.074 am	46	%	23	%	Diam. at 10%	0.074	0.074
0.074~0.005 ***	7 00	%	7.0	%	Coefficient of uniformity	6.55	19.2
Smaller than 0.005mm	10	%	10	%	Coefficient of curvature	1.42	1-17
Smaller than 0.001=		%	_	%			
2000 Sieve Passing	88	. %	67	%			
420µ Sieve Passing	56	%	33	%			
74µ Sieve Passing	10	%	10	%			

3) 気級データ

W

1

ĵĻ

型

計

Щ

0

での21年間

116

の1967年~1987年

'n

7

队

 $\vec{\prec}$

. ---(

猌

30.3 25, 7 4.8 1977.3 吊加 <u>‡</u> 29.8 225.5 4.8 25. Ø 0 4.5 603 201.9 30. 25. r---t -1 30.0 c_O 5.1 £~~ 25. 228. 0 30.1 ŝ ĆΔ 25. ъ 233. တ 30.1 9 <u>---</u> 25. 189. 00 162.6 30.4 4.9 <u>--</u>-25. **~** 157.6 30.5 26.0 ъ. ø 31.0 225.0 တ <≥3 26. 'n, ហ 133.1 6 က 4 30.9 G 0 26. 85. ₩. က 30.1 ტ <u>--</u>-54. 25. 4 Ñ <u>t---</u> വ ₩, 6.7 . .9 ξ. 25. --1 高 の ら 値 通過の高いの m/sec 月別三日 щ 計 嘅 嘅

出典:Some Meteorological Data 1966~1987

€ 队 聖雅 忠 Ш 極 計 щ 0 での5年間 ィブの1984年~1988年ま ĩh 市分 ςş • 表

선 1	2757.1
1.2	227.0
- -4	233.5
0 I	247.9
6	203.4
8	200.8
7	249.2
9	193.1
ស	240.5
4	234.6
က	253.7
73	245.5
F.	227.8
缸	田 時間 hrs

出典: Statistical Year Book of Maldives 1989

表3. 1987年の風向日平均(%)

			8	9	(i	•	f :	i i
AN AN AN AN AN AN AN AN AN AN AN AN AN A	* . *	S SS#		SSE	SE SSE	SS	SE SS	ESE SE SS	E ESE SE SS	E ENE E ESE SE SS
-	1	1		ŧ	-		-	-	1 5	1 1 5 21 7
1		1		1		' '	' I			
, ,								· ·		
- 1 1 2	I)		ŧ	1		1	1	1 2 2	2 25 2
4 13 14 16	3 4	. 2		-	3	- 3 1		ı	2 -	3 2
15 24 6 4	5 12	· 		4	- 4				 	
20 48 17 4	1 3	ı		ı	t I		1	1	1	1 1 .
8 20 21 19	8 9	e9		ı	1		ı	1	;	1
15 20 11 5	6 15	8		2	- 2		1	1	i I	1 1
18 24 28 20	က	1		ŧ	ŧ		1	1	I I	I I
17 28 12 8	8 17	ı		į	1		1	1	1	1 1 1
11 37 8 7	5 7	က		2	- 5		1	1	1	1
4 23 5 2	4	2		ı		.→	. →	 -	5 2 - 1	5 2 - 1

出典: Some Meteorological Data 1966~1987

表4. 首都マンの月別平均函鑑

1 2	137
F T	150
1 0	ರು # ಕು
6	343
8	137
7	229
9	159
2	211
4	9 6
က	ĸ
2	S.
-	4
旺	国 国 国

出典:世界各国便覧叢書(アジア編)

表 2. 値都トレの月別中均気温

1 2	80
11	3.0
1 0	30
6	65 27
«	30
7	30
g	3.1
rc	63 13
4	3.1
က	3.1
2	30
1	2 9
民	月辺 平均気韻 °C

出典:世界各国便覧叢簪(アジア編)

数6. ホヴディブの欧徴フロード

通田	農会	毎日
最高気温	31.4°C	1973年4月16日及び28日
最低気温	17.2°C	1978年4月11日
最大風速	31.9m/sec	1978年11月3日
24時間最大雨量	175.9mm	1977年12月23日

出典: Some Meteorological Data 1966~1987

(4) 材料調査資料(骨材粒度ふるい試験)

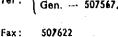
MORATUWA UNIVERSITY OF

Engineering Department of Civil

Moratuwa, Sri Lanka

Head -- 505422 Tel: Gen. -- 507567, 507568

Fax:





Your Ref:

Our Ref; CE/30/ST/90/

16/07/90

Sample - Fine Aggregate

Sieve size (mm)	Weight retained (g)	% Passing
4.75		100.0
3.35	21.0	95.0
2.36	21.0	90.8
1.70	50.0	80.7
1.18	84.0	63.7
0.850	90.0	45.5
0.600	112.0	22.9
0.425	66.0	9.5
0.300	34.0	2.6
0.212	10.0	0.6
0.150	01.0	0.40
0.075	02.0	0.0
Pan		0.0

$$\frac{d_{50} = 0.920}{d_{10}} = \frac{1.10}{0.43} = \frac{2.56}{0.43}$$

Relative density (specific gravity) on = 2.65 oven-dried basis Relative density on a saturated and = 2.65surface dry basis = 2.65 Apparent relative density = 0.11%Water absorption (% of dry mass)

UNIVERSITY OF MORATUWA

Department of Civil Engineering

Moratuwa, Sri Lanka

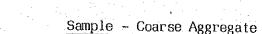
Your Ref:

Head --- 505422 Gen. - 507567, 507568

Our Ref; CE/30/ST/90/

507622

16/07/90



Sieve size (mm)	Weight retained (g)	% Passing
25 (1")		100.0
19 (3/4")	212	95.8
12.5 (½")	4020	16.0
9 (3/8")	683	2.4
6.25 (¼")	105	0.3
4.75		0.3
3.35		0.3
Pan	15	0.0

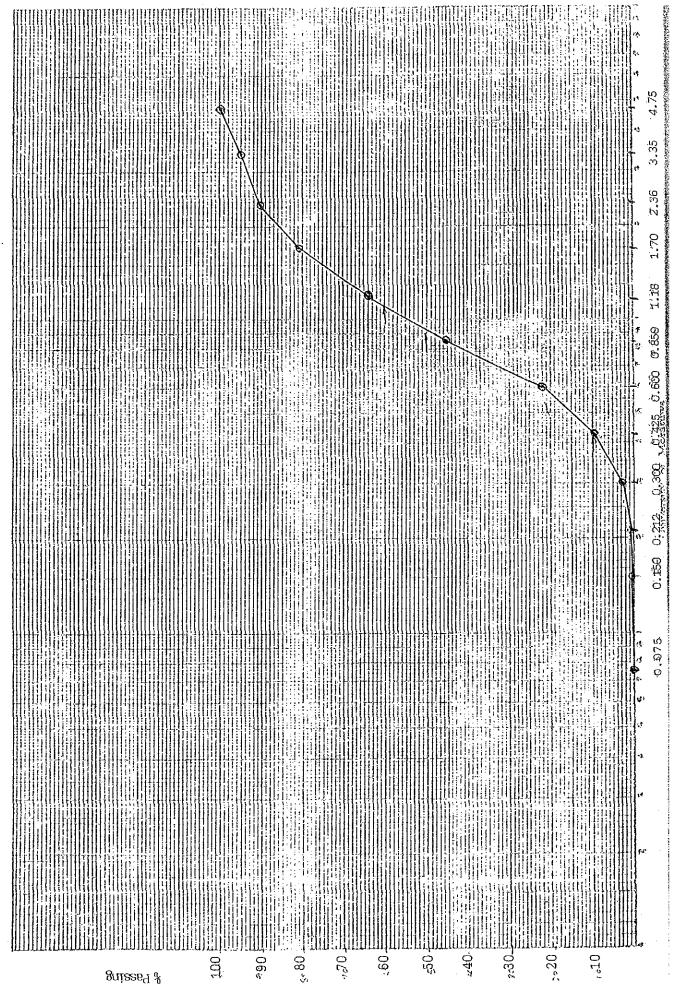
$d_{50} = 12.7$	d ₆₀	13.75	= 1.31
	\mathbf{d}_{10}	10.5	

Relative density (Specific gravity) on = 2.63oven-dried basis Relative density on a saturated and surface dry basis = 2.64= 2.66Apparent Relative density = 0.37% Water absorption (% of dry mass)

Dr.A.A.D.A.J.Perera Lecturer in Civil Eng.

Or.W.Samarasinghe.

Senior Lecturer in Civil Eng.



資料 表1

1989年度マジィディア中学校講堂使用実績

- ·	
1月9日-30日	GCE試験
1月15日	P. T. A. ミーティング
2月3日	* 政府職員ミーティング
2月22日	カブスカウトミーティング
2月24日	* 政府職員ミーティング
3月9日	* マーティーズ記念日行事
3月13日	* 連邦の日記念行事
3月18日	* ミーティング (エクベリンゲ グルハン)
3月23日	OBミーティング
4月6日	校内健康フェアー
4月13日	* 政府職員ミーティング
4月19日	創校記念日行事
4月27日	* ミーティング
5月2日	* ミーティング
5月6日	* ミーティング
5月11日	* ミーティング
5月12日	* 政府職員ミーティング
5月14日	* ミーティング
5月18日	子供の日音楽会
5月22日	5・6年生教師ミーティング
5月24日	* 文芸協会ミーティング
5月28日	6・7年生とラストフィ氏のミーティング
5月30日	7年生とラストフィ氏のミーティング
6月31日	第62周年記念コンサート
6月15日	級長主催パーティ
6月26日	* 第6会科学展ミーティング
7月2日	* クリケット協会メンバーに対する与えられた
	大統領によるパーティ
	* SEC10周年記念パーティ
7月6日	* 叙勲式典
7月25日	* 独立記念日パーティ(大統領府主催)
8月8日	* 政府職員ミーティング
8月9日	* "
8月12日-19日	人 試
9月21日	教員セミナー
	* GCEテスト成績での優秀者表彰式
10月1日	* 国民記念日ミーティング
10月4日	8・9・10年生文芸協会ミーティング
10月16日	スカウト協会ミーティング
10月21日	* 政府職員ミーティング
10月23日	PTAミーティング (教育省の要請による)
10月24日	* 国連の日行事
10月25日	* イングリッシュディ開会式
10月25日-30日	* イングリッシュディ行事
11月3日	* 勝利の日ミーティング
11月5日	教育大臣が級長の話をきく会
<u> </u>	l

資料表 2 1989年度アミニア中学校講堂使用実績

学校活動

12月16日 級長パーティー 3月13日 コモンウェルスの日 3月16日 女子学生指導協会セレモニー 第1学期期末テスト 4月2日~4月10日 5月1日~5月7日 歌の練習 子供の日 5月18日 6月19日 表賞式 6月 スポーツ練習 8月15日~8月22日 第2学期期末テスト PTAミーティング 9月23日~9月26日 デビィヒ語の日 9月23日 コンサート 10月8日~10月10日 10月16日 世界食品展 10年生への進学者の始業式訓練 10月16日 PTAミーティング 10月22日~10月26日 国連の日 10月24日 特別PTAミーティング 10月25日 文芸の日 10月20日 勝利の日 11月3日 サービスガイド入学式 11月13日 特別講演会 11月19日 進級テスト 11月28日~12月6日 教員懇親会 12月12日

毎週月曜日と火曜日の午前10時30分から11時45分までは10年生のためのイスラム教育クラスが行われる。

その他

- T.T.練習
- 毎日午後1時30分から6時までは音楽の練習

	<u> </u>
1月31日	GEC試験
9月11日	* M.T.C.C.
9月11日	* 電信電話局
5月11日	* 電信電話局
5月17日	女子学生指導協会
5月1日	* アラビヤ協会
11月27日	* アラビヤ協会
12月 6日	* ダンドゥー島開発及びボランティア活動協会
11月30日	* 大統領レセプション
12月2~4日	美術展
10月7日	* 大統領府ミーティング
12月10日~12日	コンサート
6月14日	* 民間会社
11月22日~12月2日	* アラビヤ協会
9月28日	* ブルーピース協会
6月8日~11日	* DIB写真展
5月17日~19日	女子学生指導協会リーダートレーニング
5月1日~4日	ボーイスカウト協会
10月14日~16日	ブラウニスカウト入隊式
10月18日~24日	* 親のための保健セミナー
10月10日	英語の日
10月11日	デビィヒ語の日
10月末	カプスカウト入隊式
9月21日~22日	* T.T.トーナメント
	 毎週日曜日はITFのイスラム教育クラスを実施する。

* 印は学校行事と無関係の行事

資料表 4 1989年度イスカンダル小学校講堂使用実績

2月15日~2月21日 写真展(情報局) 3月27日~3月28日 " (") 6月8日~6月11日 ソ連写真展(〃) (個人) 7月27日~9月18日 9月14日~9月15日 食品展 (厚生省) 11月4日~11月7日 アリア校(私立)学校コンサート 10月19日~10月20日 写真展(情報局) 10月29日~10月30日 ミーティング (民間会社) 食品展 (ヘンベイルアバークリルベ協会) 11月7日~11月8日

学校活動

- ブラウニ/カプスカウトミーティング及び入隊式
- PTAミーティング

資料表 5 1989年度カラファヌ小学校講堂使用実績

i	9月8日	ステージショー (モルディブーソビエト連邦友好協会)
	9月27日~30日	B. P. S. 校 (私立) コンサート
	9月5日	ショー(教育省及びブリティッシュカウンシル)
	10月9日	表賞式(教育省)
	10月11日	予言者モハメドの誕生日ミーティング
	10月16日	世界食品展(企画環境省と農林水産省)
	10月23日	国連の日のための学校間美術展
	10月24日	美術展の表賞式
	10月29日	AHSTCミーティング
	10月31日	アトール行政省ミーティング
	11月1日~3日	マレ英語学校(私立校)コンサート
	11月2日	マレ英語学校及びB.P.S.S. (私立校)
		勝利の日ミーティング
	11月4日	マジックショー(モルディブーソビエト連邦友好協会)
	11月9日	M. E. S. コンサート
	11月17日	大統領府レセプション
	11月26日	カラファヌ小学校コンサート
	12月5日	
	12月7日	
	12月9日~11日	ヘンベイル校(私立校)ミーティング
	12月12日	演芸会
	12月14日~18日	ITE学生演芸会練習
	12月19日	ITEセミモニー
	12月20日	25周年記念ST0ミーティング
	1月3日~5日	国立図書館主催ステージショー
	1月9日~25日	G. C. E. 試験
Į		

資料 表 6 ジャマルデイン小学校講堂使用カリキュラム (音楽クラス) 午 前 授 業

時 間	土曜	日曜	月曜	火 曜	水 曜
7.05- 7.40	4 E	4 A	3 C	4 H	5 B
7.40 - 8.15	5 G	3 H	3 B	SE	
8.15-8.50	5 D	3 G	_	3 A	4 F
8.50 9.05			休 憩		
9.05-10.15	4 D	3 F	4 G	4 I	5 F
9.40-10.15	4 B	3 E	5 C		
10.15-10.50	5 I	3 D	4 J	-	
10.50 - 11.25	_	4 C	5 H	-	S. A

午 後 授 業

時間	土曜	日曜	月曜	火曜	水曜
1.05 - 1.40	1 A	1 E	2 I	3 K	
1.40 — 2.15	1 B	1 F	2 H	3 J	2 B
2.15 - 2.50	1 K	1 J	2 G	3 I	2 A
2.50-3.05			休 憩		
3.05 - 3.40	_	1 I	2 F	1 H	3 1
3.40 - 4.15	1 C	2 K	2 D	1 G	2 D
4.15 — 4.50	1 D	2 J	3 L	2 C	· <u>-</u> .

^{*1~5}の数字は学年、A~Kまでのアルファベットはクラスを示す。

表 7 モルディブ側負担主要工事費内訳 1. 周囲歩道工事費

		r	خنت	<u> </u>		·	
		AV. heel	314	材料費	(1117)	労務費	(11717)
	項 目 :::::::::::::::::::::::::::::::::::	数量	単位	単価	合計	単価	合計
1	根切り GL-450幅2.2m全長200m	198	mз			13	2,574
	埋め戻し t=240幅1.5m全長200m	72	m³.			13	936
	石入り土 t=100幅1.5m全長200m	30	mЗ	130	3,900	13	390
	砂 t=50幅1.5m全長200m	15	mз	177	2,655	13	195
					* **	and the	
2	敷モルタル(U字側溝)	5	m3	2,300	11,500	50	250
	t=50幅0.5m全長200m		,			-	
	敷モルタル(街路境界)	3	W ₃	2,300	6,900	50	150
	t=50幅0.3m全長200m				1		
	押えモルタル(平板ブロック)	6	m3	2,300	13,800	50	300
	t=300幅0.1m全長200m						
3	コンクリート平板プロック 1	960	枚	6	5,760	1	960
	210x210x60全長200						
	コンクリート平板プロック 2	13,700	枚	3	41, 100	1	13,700
	210x105x60幅1.5m全長200						
	街路境界コンクリートブロック	200	個	77	15,400	10	2,000
	290x150x1000						
	コンクリート蓋 400x1000x80	200	枚	64	12,800	10	2,000
	U字側溝 400x450x1000	200	個	153	30,600	20	4,000
	7 20012						
	計				144, 415		27, 455
1	合計		F			171,87	0ルフィア

表 8 モルデイブ側負担主要工事費内訳 2. 既存建物撤去工事

		¥1. [=]	234	材工費	(4717)]
	項 目	数量	単位	単価	合計	
1	バスケットボールコート及びスタジ アム面積2170m ²	2170	m ²	45	97,650	
	合計	·			97,650	

表 9 モルデイブ側負担主要工事費内訳 3. 擁壁工事費 (全長は擁壁200m+花壇100mとする)

	項目	*		材料費(ルフィア)		労務費(ルフィア)	
	74 E	t t	単位	単価	合計	単価	合計
1	根切り GL-700幅0.8m全長300m 埋め戻し t=320幅0.65m全長300m 石入り土 t=100幅0.7m全長300m 捨てコン t=60幅0.7m全長300m	168 62 21 13	m 3 m 3 m 3	130 980	2, 730 12, 740	13 13 13	2, 184 806 273 材工込み
2	コンクリート 600x180+150x2120全長300m	128	m ³	980	125, 440	_	材工込み
3	型枠 H2300x2 (両面) 全長300m	1.380	m².	116	160,080		材工込み
4	鉄筋 0.15t/m³ (単位コンクリート量当り)x128	19	t	5200	98,800	_	材工込み
5	左官 H1800x2(両面)全長300m	1,080	m²	70	75,600		材工込み
6	塗装 同上	1,080	m ²	40	43, 200	-	材工込み
	출 †				518, 590		3, 263
	合計		1	<u>-</u> 1		521, 853	ルフィア

資料 図1 ユースセンター組織表

